nikko am

日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型（中国元コース）

追加型投信／海外／資産複合

交付運用報告書

第61期（決算日2015年3月3日） 第62期（決算日2015年4月3日） 第63期（決算日2015年5月7日）
第64期（決算日2015年6月3日） 第65期（決算日2015年7月3日） 第66期（決算日2015年8月3日）

作成対象期間（2015年2月4日～2015年8月3日）

第66期末（2015年8月3日）	
基準価額	5,752円
純資産総額	374百万円
第61期 ～ 第66期	
騰落率	11.5%
分配金（税込み）合計	480円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型（中国元コース）」は、2015年8月3日に第66期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、新興国の様々な資産に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

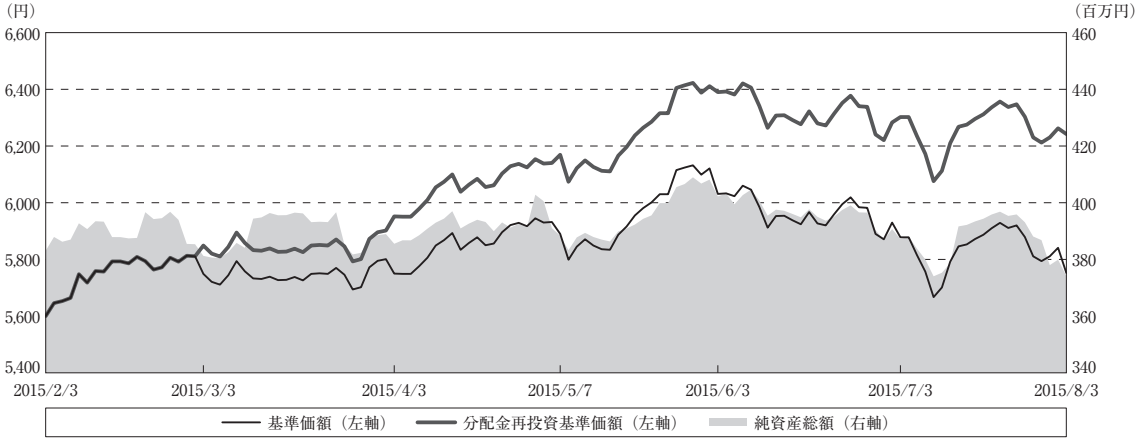
日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目7番1号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター 電話番号：0120−25−1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。
●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2015年２月４日～2015年８月３日）



第61期首：5,600円
第66期末：5,752円（既払分配金（税込み）：480円）
騰 落 率： 11.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年２月３日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の推移

第61期首5,600円の基準価額は、第66期末に5,752円（分配後）となり、分配金を加味した騰落率は＋11.5%となりました。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、新興国の社債、株式、不動産に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、米ドルなどのＧ７（先進７カ国）の国の通貨建ての資産については、原則として米ドルなどのＧ７の国の通貨売り、中国人民元買いの為替取引を行なっています。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・新興国のハイイールド社債が好調だったこと。
・2015年前半にPBOC（中国人民銀行）が発表した景気刺激策を受けて中国市場の株価が上昇したこと。

＜値下がり要因＞

・中国当局の信用取引の規制措置などにより、中国市場の株価が大幅に下落したこと。
・アメリカドル高となったこと。
・原油をはじめとする商品価格が下落したこと。

１万口当たりの費用明細

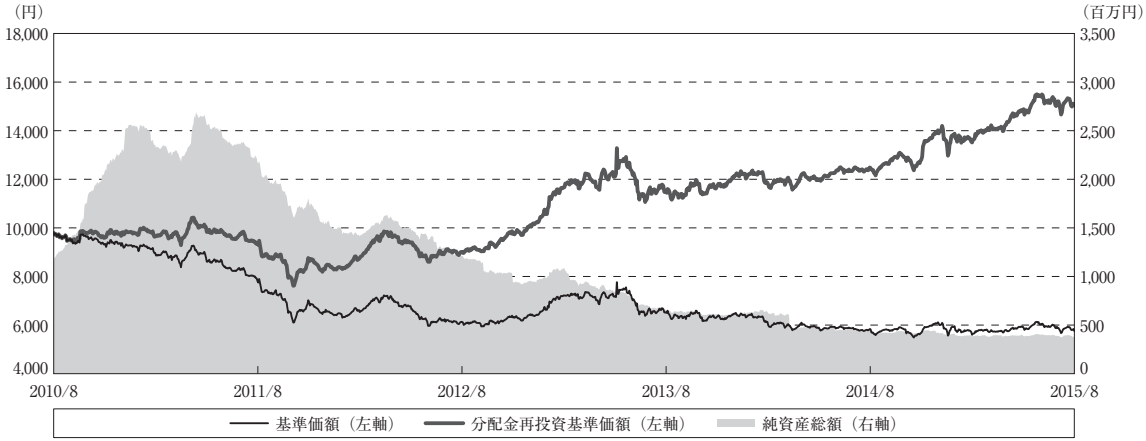
（2015年２月４日～2015年８月３日）

項　　目	第61期～第66期		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
	円	%	
(a) 信託報酬	31	0.530	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(7)	(0.133)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(23)	(0.382)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.050	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(3)	(0.047)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合　　計	34	0.580	
作成期間の平均基準価額は、5,896円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。
（注）この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合もあります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2010年８月３日～2015年８月３日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、2010年８月３日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年８月３日 決算日	2011年８月３日 決算日	2012年８月３日 決算日	2013年８月５日 決算日	2014年８月４日 決算日	2015年８月３日 決算日
基準価額　（円）	9,796	7,807	6,002	6,476	5,696	5,752
期間分配金合計（税込み）　（円）	―	1,620	1,450	1,200	1,200	1,080
分配金再投資基準価額騰落率　（％）	―	△　4.4	△　4.2	29.1	7.1	21.5
純資産総額　（百万円）	1,186	2,171	1,188	651	438	374

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2015年２月４日～2015年８月３日）

（新興国社債市況）

新興国社債、特にハイイールド社債は、企業のデフォルト（債務不履行）やバランスシート上の為替リスクに対する懸念により2015年初めにかけて売り込まれたことから、非常に割安な水準となっていました。その後、懸念が行き過ぎたものだったことが明らかになり、魅力的なバリュエーション（価格評価）や投資家のリスク許容度の回復を受け、最も好調なパフォーマンスを示した資産クラスの１つとなりました。

（新興国株式市況）

新興国株式は、アメリカドル高と商品価格低迷の影響を受けてボラティリティ（変動性）の高い展開となりました。

中国については、不動産セクターの銘柄を中心として、2015年前半にPBOCが発表した景気刺激策の恩恵を受けました。しかし、中国当局が信用取引の規制措置を講じたことから、中国市場の株価は６月下旬より大幅に下落しました。

ブラジルについては、同国の諸問題が引き続き重しとなり、新興国株式の中で最も振るわなかった市場の１つとなりました。インフレや景気減速が引き続きブラジル株式の重しとなりました。インフレ率が７％を上回ったことから、ブラジル中央銀行は一段の追加利上げを余儀なくされました。ブラジル政府の新経済チームは前政権の経済政策の大部分を撤回し、2016年以降の景気回復にとっての基盤を構築しつつあります。

（新興国不動産投資信託市況）

新興国不動産投資のパフォーマンスは強弱混在したものとなりました。中国銘柄は、PBOCによる流動性供給の恩恵を受けて上昇しましたが、2015年６月以降の株価急落により上昇分の一部を打ち消す展開となりました。

（国内短期金利市況）

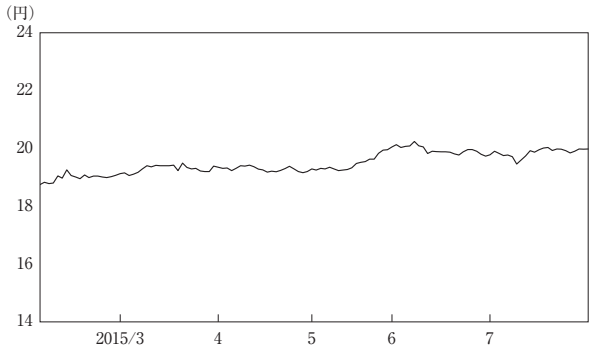
無担保コール翌日物金利は、期間中、概ね0.05～0.09％の範囲で安定的に推移しました。

国庫短期証券（TB）３ヵ月物金利は、期間の初めから2015年６月にかけては、日銀によるTBの買入れが減額されるとの懸念などを受けてプラスの利回りとなる局面もありましたが、概ね0.00％近辺でもみ合いの推移となりました。７月に入ると、ギリシャの債務問題を背景としたユーロ圏からの資金流入もあり一時的に－0.07％台まで低下する局面があったものの、－0.01％近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における円／中国人民元相場は、右記の推移となりました。

円／中国人民元の推移



当ファンドのポートフォリオ

（2015年２月４日～2015年８月３日）

（当ファンド）

当ファンドでは、収益性を追求するため「アッシュモア・エマージング・マーケッツ・トライアセット・ファンド・リミテッド ＣＮＹクラス」円建投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アセット・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（アッシュモア・エマージング・マーケッツ・トライアセット・ファンド・リミテッド ＣＮＹクラス）

新興国の債券、株式、不動産に投資を行ない、インカム収益を確保しながらトータルリターンの最大化をめざしました。

ポートフォリオにおける各資産の組入比率は、各資産内での組入銘柄の入れ替えなどにより変動しましたが、債券を４割～６割程度、株式および不動産はそれぞれ１割～３割程度で構成しました。

（マネー・アセット・マザーファンド）

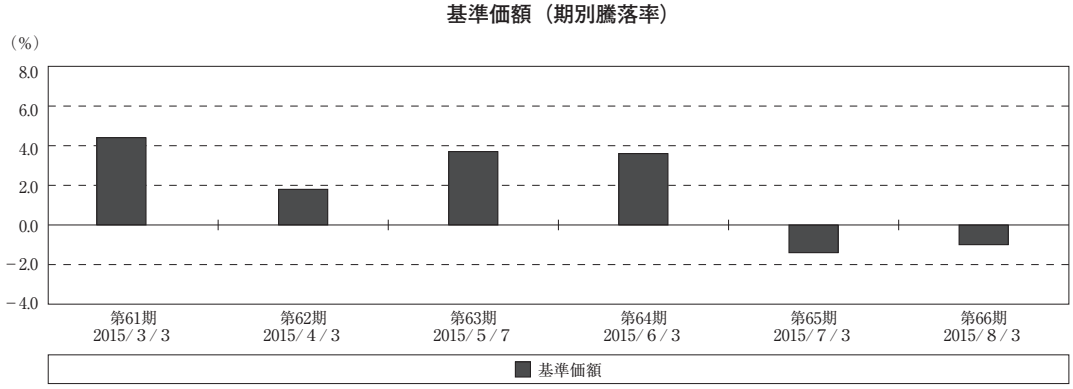
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2015年２月４日～2015年８月３日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

以下のグラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2015年２月４日～2015年８月３日）

第61期～第66期における分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第61期 2015年２月４日 ～2015年３月３日	第62期 2015年３月４日 ～2015年４月３日	第63期 2015年４月４日 ～2015年５月７日	第64期 2015年５月８日 ～2015年６月３日	第65期 2015年６月４日 ～2015年７月３日	第66期 2015年７月４日 ～2015年８月３日
当期分配金	100	100	70	70	70	70
（対基準価額比率）	1.710%	1.709%	1.174%	1.147%	1.177%	1.202%
当期の収益	91	87	70	62	58	59
当期の収益以外	8	12	—	7	11	10
翌期繰越分配対象額	724	713	733	726	716	705

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「アッシュモア・エマージング・マーケッツ・トライアセット・ファンド・リミテッド ＣＮＹクラス」円建投資証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アセット・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（アッシュモア・エマージング・マーケッツ・トライアセット・ファンド・リミテッド ＣＮＹクラス）

新興国資産価格は、ここ２年間相対的に低迷を続けてきましたが、依然として魅力的な水準にあるという見方をしています。ここ数年の間に多くの新興国諸国が景気減速局面入りし、厳しい試練にさらされましたが、これらの新興国諸国の大半が経済調整や構造改革を実施し、信用力を改善してきました。

一方、先進国のほとんどは景気減速の対処に金融や特に財政政策の緩和を実施していますが、意味のある財政改善や構造改革を実施せずに、７年間も非常に緩和的な金融状況を浪費してきたと考えています。先進国は金融情勢が本格的に引き締めの方向になった場合は、そのつけが回ってくると思われます。

足元での市場の調整を背景として、新興国株式の将来的なバリュエーションは割安感があり投資妙味が大きいと考えています。

上記見通しの下、引き続き、新興国の債券、株式、不動産に投資を行ない、インカム収益を確保しながらトータルリターンの最大化をめざします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アセット・マザーファンド）
引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。
将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

お知らせ

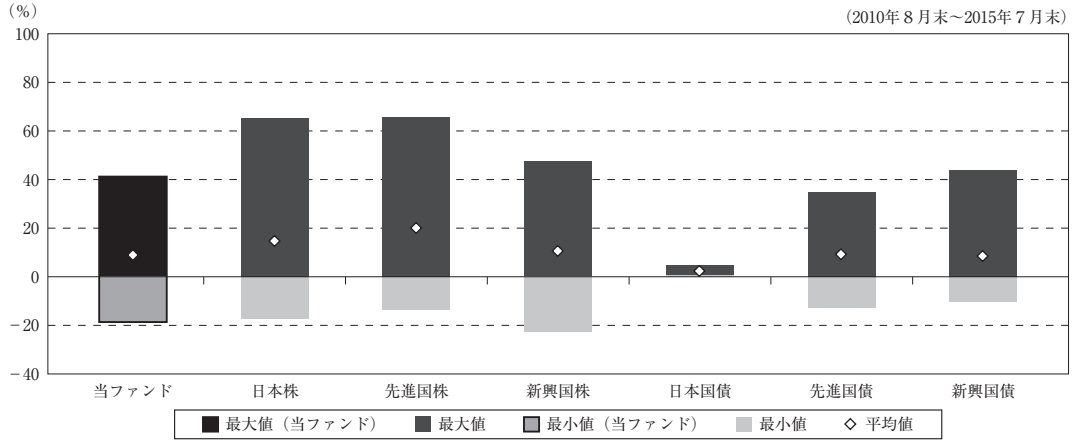
2015年２月４日から2015年８月３日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2010年２月26日から2020年２月３日までです。
運用方針	主として、新興国の様々な資産を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「アッシュモア・エマージング・マーケッツ・トライアセット・ファンド・リミテッド ＣＮＹクラス」投資証券 「マネー・アセット・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、新興国の社債、株式、不動産に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざします。米ドルなどのＧ７の国の通貨建ての資産については、原則として米ドルなどのＧ７の国の通貨売り、中国元買いの為替取引を行ないます。
分配方針	第１計算期から第４計算期までは収益分配を行ないません。第５計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	41.2	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△18.6	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	9.1	14.9	20.1	10.6	2.4	9.3	8.5

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2010年８月から2015年７月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2011年２月以降の年間騰落率を用いております。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX、配当込）
先進国株：MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
日本国債：NOMURA － ボンド・パフォーマンス・インデックス国債
先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン GBI － EM グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

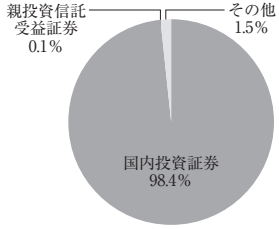
（2015年８月３日現在）

○組入上位ファンド

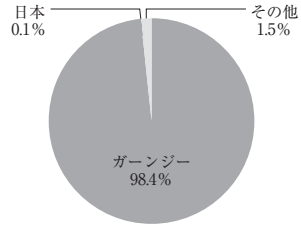
銘　柄　名	第66期末
	%
アッシュモア・エマージング・マーケッツ・トライアセット・ファンド・リミテッド CNYクラス	98.4
マネー・アセット・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

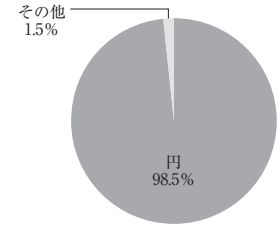
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注）国内投資証券には外国籍（邦貨建）の投資証券を含めております。

純資産等

項　　目	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末	第66期末
	2015年３月３日	2015年４月３日	2015年５月７日	2015年６月３日	2015年７月３日	2015年８月３日
純資産総額	381,250,574円	385,522,715円	388,343,365円	402,212,581円	387,169,712円	374,114,903円
受益権総口数	663,149,250口	670,505,831口	659,330,317口	666,858,031口	658,620,213口	650,441,123口
１万口当たり基準価額	5,749円	5,750円	5,890円	6,031円	5,878円	5,752円

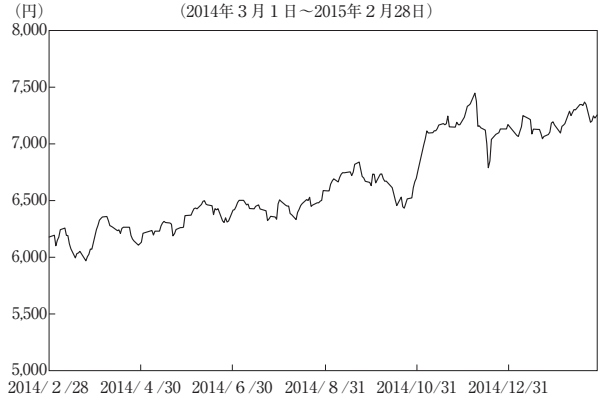
（注）当作成期間（第61期～第66期）中における追加設定元本額は137,970,450円、同解約元本額は171,675,767円です。

組入上位ファンドの概要

アッシュモア・エマージング・マーケッツ・トライアセット・ファンド・リミテッド ＣＮＹクラス

【基準価額の推移】

（2014年３月１日～2015年２月28日）



【１万口当たりの費用明細】

（2014年３月１日～2015年２月28日）

当該期間の１万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

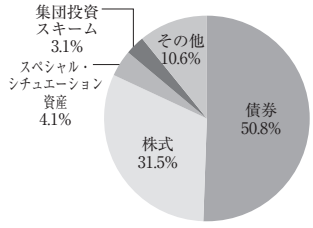
【組入上位10銘柄】

（2015年２月28日現在）

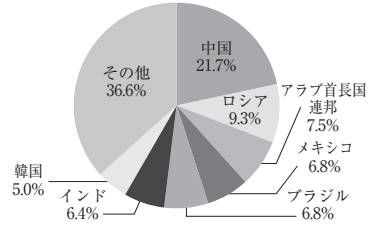
	銘　柄　名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	Baidu Inc ADR	株式	アメリカドル	中国	3.6
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing ADR	株式	アメリカドル	台湾	3.2
3	China Construction Bank	株式	香港ドル	中国	2.1
4	Korea Electric Power Corp	株式	韓国ウォン	韓国	2.0
5	Emerald Plantation 6.00% PIK 30/01/2020	債券	アメリカドル	中国	1.8
6	Ashmore SICAV Indian Small-Cap Equity Fund	集団投資スキーム	アメリカドル	ルクセンブルク	1.8
7	Cemex ADR	株式	アメリカドル	メキシコ	1.7
8	Rubicon Offshore International Holdings Limited 10.00% FRN 12/06/2019	スペシャル・シチュエーション資産	アメリカドル	シンガポール	1.7
9	Lg Household & Health Care Ltd	株式	韓国ウォン	韓国	1.5
10	Far East Energy 13.00% PIK 15/01/2016	非上場債券	アメリカドル	中国	1.5
組入銘柄数		188銘柄			

（注）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

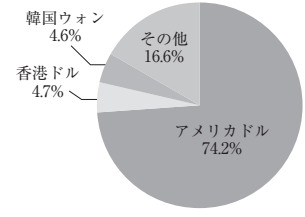
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

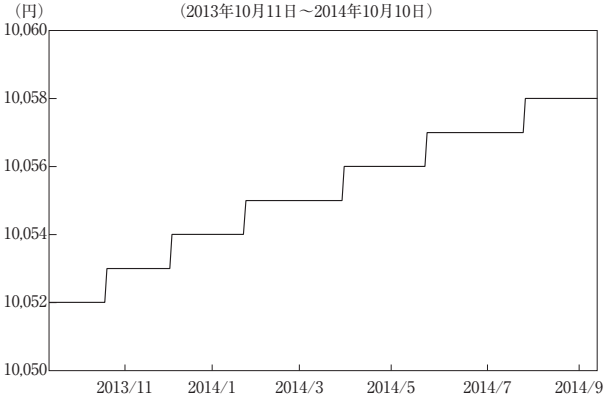


（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・アセット・マザーファンド

【基準価額の推移】

（2013年10月11日～2014年10月10日）



【１万口当たりの費用明細】

（2013年10月11日～2014年10月10日）

該当事項はございません。

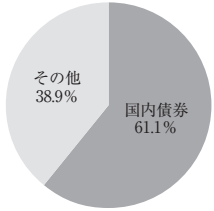
【組入上位10銘柄】

（2014年10月10日現在）

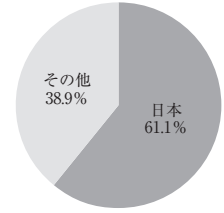
	銘　柄　名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	第４８１回国庫短期証券	国債証券	円	日本	32.2
2	第４７９回国庫短期証券	国債証券	円	日本	29.0
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		2銘柄			

（注）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

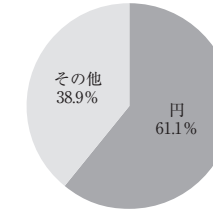
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○東証株価指数（TOPIX、配当込）
当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）
当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － ボンド・パフォーマンス・インデックス国債
当指数は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
当指数は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン GBI － EM グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）
当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。